

自昭和十九年九月一日  
至昭和十九年九月三十日

# 陣中日誌

22688

獨立混成第十五聯隊第三大隊

軍事極秘

自昭和十九年九月一日  
至昭和十九年九月三十日

# 陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第二大隊本部

表、陣中日誌、例式

第一 陣中日誌ハ左ノ諸部ノ關係ニ於テ作ルモ其ノ旨ハ左ノ如クス

大本營ノ各部(郵便部、隊部、司令部、編制上ノ各部、區分)

ルモノハ其ノ各部毎ニ但郵便部ヲ除ク(兵站監部ノ各部、兵站司

令部、聯隊大隊獨立中隊、砲隊、聯隊、隊列、衛生、醫務、糧食、

立砲臺、電信隊、衛生隊、病院、隊列監視隊、兵器廠、隊備員、隊備廠

患在輸送部、馬廠

留守司令部及補充諸隊ノ關係ニ於テハ區分ニ應ジテ各隊ノ日誌ヲ

採作リ首トシテ其ノ要ニ依リ陣中日誌ニ記載ス

第二 陣中日誌ヲ留守日誌ノ諸隊ノ關係ニ於テハ區分ニ應ジテ各隊ノ日誌ヲ

採作リ首トシテ其ノ要ニ依リ陣中日誌ニ記載ス

特別部隊等ニ在テハ先ツ到着セシ將校又ハ同相當官之カ記載ヲ始

メ後ニ之ヲ採作リ首トシテ其ノ要ニ依リ陣中日誌ニ記載ス

第三 甲、隊本部ノ關係ニ於テハ區分ニ應ジテ各隊ノ日誌ヲ採作リ首トシテ其ノ要ニ依リ陣中日誌ニ記載ス

第百三 甲各人若久八諸部隊... 入營... 操隊...  
 第一 編制教育補充給養衛生武器彈藥器具材料被服裝具  
 第二 等凡軍事關係之事物...  
 第四 軍人自的之達セシテ...  
 第五 命令訓令通達...  
 第六 軍人自的位置...  
 第七 軍人自の地位...  
 第八 軍人自の地位...  
 第九 軍人自の地位...  
 第十 軍人自の地位...  
 第十一 軍人自の地位...  
 第十二 軍人自の地位...  
 第十三 軍人自の地位...  
 第十四 軍人自の地位...  
 第十五 軍人自の地位...  
 第十六 軍人自の地位...  
 第十七 軍人自の地位...  
 第十八 軍人自の地位...  
 第十九 軍人自の地位...  
 第二十 軍人自の地位...

第二大隊本部 編成表

大隊長	大尉	附	主計	醫	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生
井上清公	山下寛治	関 太郎	富田良夫	吉賀 明	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章	野澤 章
書庫	兵庫	暗軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍	給軍
塩原茂信	藤井光男	神條嘉春	岩淵亮一	宮崎啓二	長谷川信一	村井正順	若林武夫	田中考一	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄	中田芳雄
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫

昭和一九二二年

左者... 此...

第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二	第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一	第三十二	第三十三	第三十四	第三十五	第三十六	第三十七	第三十八	第三十九	第四十	第四十一	第四十二	第四十三	第四十四	第四十五	第四十六	第四十七	第四十八	第四十九	第五十	第五十一	第五十二	第五十三	第五十四	第五十五	第五十六	第五十七	第五十八	第五十九	第六十	第六十一	第六十二	第六十三	第六十四	第六十五	第六十六	第六十七	第六十八	第六十九	第七十	第七十一	第七十二	第七十三	第七十四	第七十五	第七十六	第七十七	第七十八	第七十九	第八十	第八十一	第八十二	第八十三	第八十四	第八十五	第八十六	第八十七	第八十八	第八十九	第九十	第九十一	第九十二	第九十三	第九十四	第九十五	第九十六	第九十七	第九十八	第九十九	第一百
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

九月一日

第六大隊主力依然國頭郡合歸仁國民學校在リテ

合歸仁守備隊上中隊第五第六中隊機關銃中隊  
 (一)小隊缺(二)現地(三)第四中隊及機關銃一(四)小隊ヲ  
 兼及國民學校ニ位置ニ守備ニ任ス

陣地構築状況各中隊隊長共狀況ニ道應スル如ク作  
 業遂行

會戰準備期間に戰團加入前森林養期間其他構築  
 毎ニ次期會戰ニ所要ノ意練ヲ續行ス

陣地構築二岩洞軍曹以下八名陣地構築作業ヲ實施ス

命 第三井自命第三七號

井上隊命令 九月一日 陸軍中尉 岡 太郎

右着駐屯地會報出席ノ爲明言渡久地ニ出張ス

宿營地  
勤務員  
(計上)

命  
今歸仁  
日直下士官  
陸軍軍曹  
宮崎啓二  
將校以下 二八名

九月二日  
晴

陣地構築

一、岩淵軍曹以下七名陣地構築作業ヲ實施ス

二、關中尉日命第三七號ニ基キ駐屯地會報出席ノ為

〇八〇由發渡久地ニ出張一六〇歸隊ス

宿營地

今歸仁  
糧秣受領(渡久地)官騎軍曹外二名

勤務員

日直下士官  
陸軍軍曹  
塩原茂信

人員

將校以下 二八名

九月三日  
晴

陣地構築

一、岩淵軍曹以下八名陣地構築作業ヲ實施ス

二、關中尉陣地狀況視察ノ為〇七三〇出發各中銃隊ノ

狀況視察シ一〇〇歸隊ス

命令

三井日命第三八號

井上隊命令  
九月三日

一、九月六日聯隊兵器檢査受檢計畫別紙ヲ通

リ心得ヘシ

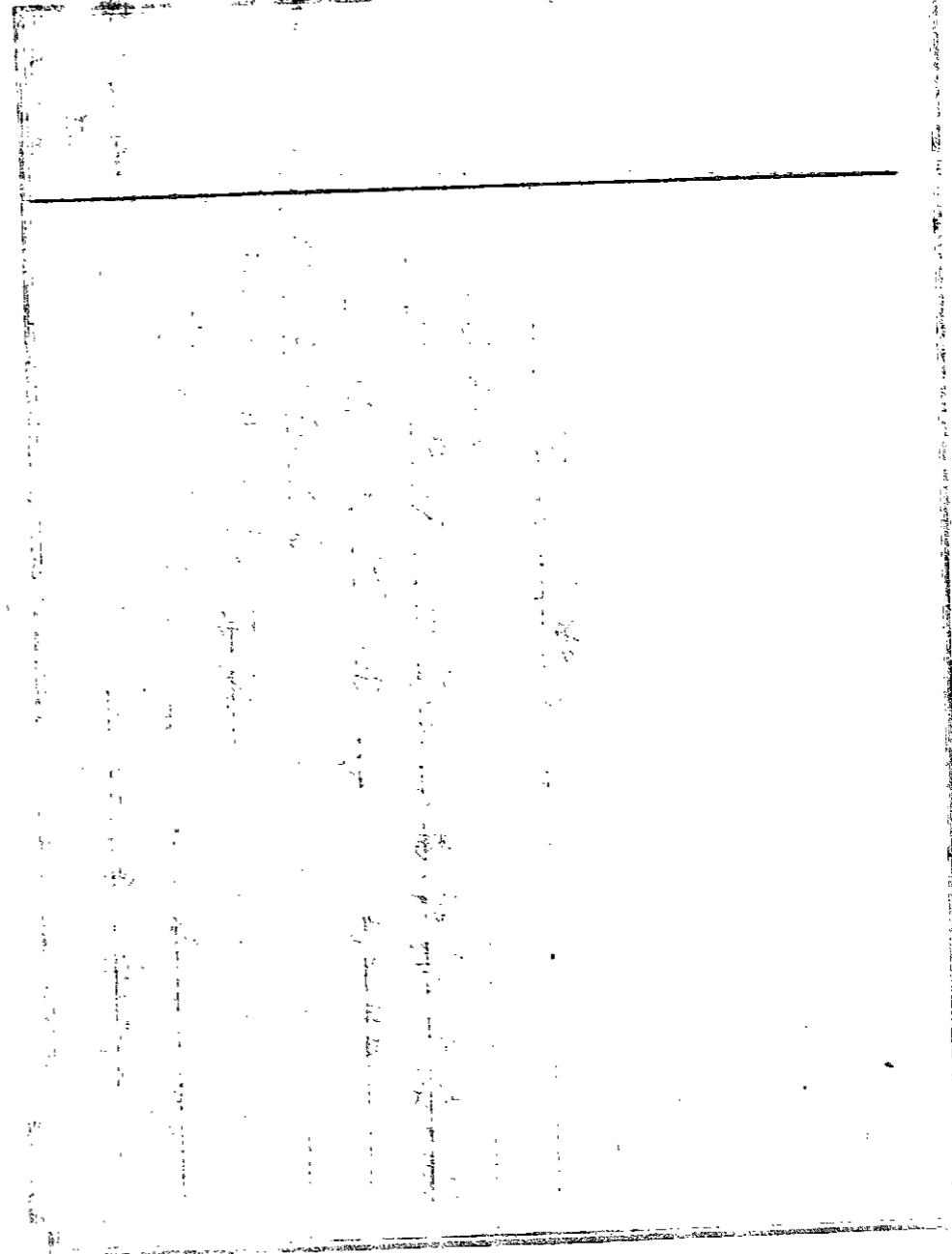
命令

四井日命第三四號別紙ノ如シ

井日命第三八號別紙

部隊兵器検査受檢計畫 第二大隊

受檢項目		受檢器		受檢中隊		受檢時間		受檢場所		摘	
九		九		第四中隊		自〇九〇〇 至〇九四〇		兼次國民 學校校庭			
月		器		第一機關銃隊 配屬一十小隊		自一〇九五〇 至一〇一〇		今歸仁國民 學校			
六		六		第一大隊本部		自一〇五〇 至一一三〇					
五		五		第五中隊		自一四〇〇 至一四四〇					
四		四		第六中隊		自一四五〇 至一五三〇					



日		報	
無線一ヶ分隊	通信隊配屬	第三機関銃中隊	至一六三〇
至一七〇〇	至一六四〇	至一六三〇	至一六三〇
夜救救			

備考

- 一 雨天ノ節ハ受檢場所ヲ舍内トス
- 二 検査官ノ都合ヨリ受檢時間ヲ多少變更スルトアリ

井上隊命令

一 九月四日ヨリ八日ニ亘ル間全歸仁村ハ総力ヲケテ第二期水稻  
植付ヲ實施ス

- 二 井備隊ハ九月四日全カヲ以テ第二期水稻植付ヲ援助セントス
- 三 各隊ハ先ニ別紙援助区分表ニ基キ水稻植付ヲ援助スルシ
- 四 作業開始ハ八日ヨリ作業終了ハ八日ヨトス
- 五 四日晝食ハ携行食トス
- 六 服装ハ防暑衣袴ニ備上歎トシ指揮者ニ備剣ヲ装スルシ
- 七 予ハ井備隊本部ニ在リ

井備隊長 井上 大 計

下達印別紙付



副紙

第二期水稻植付補助数

		玉城	本 五 中 部 別	
嶺山	油尾次	與那嶺	諸志	4
	仲曾根	謝名	字敷	5
	越地	卷川	天志	6
	桑次	明野	後藤仁	2 149
		備考 一、各隊ハ季義ニ基キ郡 別ニ補助力ヲ割出スルニ トス 二、補助郡限ハ四日ハ八日 夫、坦在郡落三至ノ区長 通落ノ上作業ヲ完結スル 天、トス		

井上

九月四日  
曇

宿營地  
勤務  
人員

今歸仁  
日直下士官 陸軍軍曹 藤井光男  
將校以下二八名

五、本夜各中銃隊長將校、現ニ協カシアル部落常會  
(5000開會)ニ出席シ軍民一體トナリ先ク現下ノ築  
城ニ必要ナル所以ヲ説明シ時局ニ對スル認識ヲ深刻ナラ  
シメ良結果ヲ得タリ

一、岩淵軍曹以下二名井作命第二四號ニ基キ三城ニ到  
田植ニ協カス  
昨夜前ニ依リ水量増加シ相當ノ進捗ヲナシ歸隊ス  
二、副官各隊、田植協力作業狀況ヲ巡視ス(0800-1100)  
三、1000今歸仁村長來隊シ續病患者等、連絡ヲ

命令

ナシニニ〇〇終了ス

四獨混二五聯作命第二九號要旨左如シ

一、臺灣西海岸ニ九月廿八三五號警戒警報發令セラレ

又伊江島第五〇飛行場大隊、通報ニ依リ八月十六日

ヨリ八月二八日ニ亘リタル間其對空監視哨ハ伊江島本部

半島間ノ海域ニ敵、照滅信號及信號彈ヲ發見セ

ニ

六、各守備隊ハ防衛隊等ヲ以テ其ノ守備沿岸ノ要地ニ

沿岸監視哨ヲ配置スルト共ニ警戒備ヲ嚴ナラシムヘシ

三、訓練等、夕夜間信號彈又ハ照滅信號等ヲ實施

スル場合ハ豫メ報告スヘシ

地方側ニ徹底スルヲ要ス

五獨混二五聯作命第二九號ニ基キ今歸仁村防衛隊

ヨリ崎山ニ監視哨ヲ出サシムル如ク處置ス

命令

六獨混二五聯作命第二〇號要旨左如シ

一、地區隊ハ一部ノ幹部ヲ武部隊ニ派遣シ其陣地

構築狀況ヲ視察セシメ我々陣地構築ニ資セ

ントス

六、左記人員ハ第一次陣地構築視察人員トス

九月七日〇六〇迄ニ地區隊本部ニ集合

服裝 單獨ノ服裝 眼鏡 携行

各守備隊 中隊長

命令

七、井上隊命第二九號

井上隊命

九月四日

一、明番別紙ノ通、大隊長ヲ檢査ス

二、明番別紙ノ通、大隊長ヲ檢査ス

陸軍軍曹

岩淵亮一

命令 八并 井 命 第三五號別紙 如シ

右者大隊兵器検査補助官及助手之命  
 三各隊之検査開始三〇分前準備ヲ完了シ  
 中隊長兵器係將校兵器係下士信八立會  
 他八舍内ニ於テ待機シアルハシ

陸軍兵器庫官 長谷川 信  
 神藤 嘉春

井 命 第三九號第一項別紙

井上隊兵器検査計畫

九月五日

考備	九月五日		受檢日		受檢時		受檢場		摘		要	
	般全器兵		受檢中隊		受檢時間		受檢場所		摘		要	
一右計畫ニヨリ實施ス 二但シ雨天ノ節ハ検査場ヲ舍内トス	通信中隊配屬 無線一ヶ分隊	第二機関銃中隊	第六中隊	第五中隊	第二大隊本部	第三機関銃中隊 配屬一ヶ小隊	第四中隊	兼次國民 學校校庭				
	至一六三〇	自一五三〇 至一六〇〇	自一五〇〇 至一五三〇	自一四三〇 至一五〇〇	自一四〇〇 至一四三〇	自一七三〇 至一八〇〇	自一七〇〇 至一七三〇	今歸仁國民學校校庭				

井作命第二五号

今歸仁守備隊命令

九、四、一九〇〇  
今歸仁國民學校

一、守備隊ハ九月七日ヨリ三週間豫定ヨ以テ六号無線機ノ教育

ヲ實施セントス。

二、各隊ハ右ノ如ク修業兵ヨ差出シ教育ヲ受クベシ。

(1) 各中隊 共二名

陸軍兵長

一川 初五郎

陸軍上等兵

山崎 晴雄

右者本教育間夫々助教、助手ヲ命ズ。

四、一川兵長ハ九月五日迄ニ六号無線機教育豫定表

ヲ作製提出スベシ。

五、予ハ守備隊本部ニ在リ、

守備隊長 井上大尉

宿營地  
勤務  
人員

今夕歸任  
日道下士官  
將校以下二八名

陸軍兵技軍曹 長谷川信一

九月五日

一 午前中兵器検査 諸準備ヲナス

二 一四〇ヨリ一四四日命令ニ示ス兵器検査ヲ開始ス

一七〇ヨリ兼次國民學校宿營部隊ノ検査ヲ實施ス

一八三〇終了

三 大隊長ハ兵器検査ニ着眼シテモ幹部教育ヲナス

検査終了後四〇分間兵器尊重心ニシテ精神訓話ヲ實施ス

命令 四井日命 第四〇號

井上隊命令

九月五日

宿营地  
勤勞  
人員

九月六日  
晴曇

一 陸軍少尉 長越友雄  
 明六日C地區巡察將校ニ服務スヘシ  
 二 明六日別紙計畫ニ基キ血型検査ヲ實施スヘシ  
 三 九月七日編上靴ノ修理ヲ實施ス  
 依テ左ノ通り心得ル  
 各隊ハ裝工兵一名ヲ〇ハ臨 經理室ニ差出シ富田  
 主計中尉ノ指示ヲ受ケル  
 今歸仁  
 日直下士官 陸軍軍曹 仲條嘉春  
 將校以下 二八名

一〇九〇ヨリ部隊兵器検査ヲ實施セラル  
 一四〇〇終了

命令別紙

血型検査實施計畫

井上原

實施中(小隊)	時間	場所	擔
今歸仁校各隊	〇八時ヨリ 〇九時ヨリ	今歸仁国民学校	古賀少尉擔任
平教神谷小隊	〇九時ヨリ	巡回實施	
兼攻隊各隊	〇八時ヨリ 〇九時ヨリ	兼攻国民学校	野澤見習士官擔任
諸志森周小隊	連日順序		

一 各隊(實施中(小隊)毎)ハ検査ノタメ左記様式連名簿ニ部  
 ヲ實施時間迄準備シ置クベシ  
 二 聯隊兵器検査ニ立会スル者ハ立會後實施スベシ

血型検査連名簿

隊号

成績等級	氏名	成績等級	氏名
A	上等兵 山川太郎		
AB	兵 大山一雄		

命令

二、井作命第二六號

井上隊命令

九月六日

一、守備隊、武部隊、陣地構築状況ヲ實視

セシメ、我カ陣地構築ニ資セントス

二、橋本大尉、第一次陣地構築視察員トシテ、明七

日〇六〇〇本部地區隊本部ニ至リ、西村大尉、區

署ヲ受クハシ

守備隊長

井上大尉

下達法 印刷交付

三、本夜聯隊長以下各係官全員大隊ニ宿泊スル

各歸仁

宿營地  
勤務

〇地區巡察官

陸軍少尉

長越友雄

〇地區糧秣受領

陸軍軍曹

宮崎啓治



人員

日道下士官 陸軍軍曹 岩淵亮一  
以下三名

九月七日  
曇  
教育

一本日より井作命第五號ニ基キ六號無線教育  
ヲ開始ス

被教育者左ノ如シ

本部	陸軍兵長	中村一二三
同	陸軍一等兵	小林誠一
第四隊	陸軍一等兵	安藤一雄
同	陸軍一等兵	池永辰夫
第五中隊	陸軍一等兵	松井善二
同	陸軍一等兵	板坂裕雄

第六中隊 陸軍一等兵 宮下義雄

陸軍一等兵 坂井 顯

陣地構築 二、仲條軍曹以下七名陣地構築ヲ作業ヲ實施ス(午前  
中)

行 動 三、大隊長副官古守利島附近地形偵察ヲ爲  
ス(八〇〇出發ス)

四、閉中尉ハ第六中隊陣地構築狀況視察ヲナス(八〇〇一ニシテ)

五、大隊長副官古守利島附近地形偵察ヲナシ(一七〇〇  
歸隊ス)

六、午右ハ一般ニ休養セシム

命令 七、井作命第四三號

井上隊命令 九月七日

一本職武却隊陣地構築狀況視察ヲ爲明八日

宿營地  
勤務員

ヨリ三者ノ豫定ヲ以テ武部隊司令部ニ出張ス  
六 本職不在間大隊長代理ヲ命ス  
今歸仁  
目直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二  
將校以下二八名

九月八日  
曇

宿營地

一 大隊長武部隊陣地構築實視ノ為ニ六二〇出發ス  
二 仲條軍曹以下七名陣地構築作業ヲ實施ス  
三 関中尉八一三〇一六〇迄第四中隊陣地構築  
狀況ヲ視察ス  
四 各隊銃劍術練磨ノ為假標ヲ構築セシム  
今歸仁

(井上)

勤務員

渡之地糧秣受領 陸軍軍曹 宮崎啓二  
醫務室連絡者 陸軍衛生軍曹 若林武夫  
同 陸軍衛生班長 田中孝一  
日直下士官 陸軍班長 田中芳雄  
將校以下二八名

九月九日  
曇

一 團管駐屯地會報出席ヲ為シ。出發渡之地  
二 出張ス  
陣地構築 二 仲條軍曹以下七名陣地構築ヲ實施ス  
命令 三 井上命第四四號

井上隊命令  
陸軍衛生班長 田中孝一  
陸軍衛生軍曹 永井秀雄

右者入院患者護送、爲明一。日名護町此敷  
ヲ命令ス(即日歸隊)

命 令

四、獨混五聯隊命令第三四號要旨左如シ

一、地區隊ハ各守備隊及配屬部隊、暗號教育ヲ

實施ス

二、實施細部ニ関シハ別ニ指示ス

日直下士官 陸軍軍曹 塩原茂信

將校以下二八名

宿營地  
勤務  
人員

九月十日  
晴右雨

陣地構築

一、塩原軍曹以下七名洞窟作業ヲ實施ス

二、関中尉〇八〇〇ヨリ二〇迄大隊本部陣地構築  
作業ノ指導ヲナス

三、田中衛佐任長患者護送、爲名護三出張處

一八〇歸隊ス

四、岩淵軍曹以下三名暗號補備教育参加、爲  
聯隊本部ニ向ヒ一八〇〇出發ス

命 令 五、并日命第四五號

井上隊命令 九月十日

一、陸軍少尉 中野清市

九月一二日C地區巡察ニ服務ス

二、陸軍軍曹 岩淵亮一

陸軍上等兵 池上定三

同 征矢克郎

右者暗號補備教育参加、爲  
部隊本部ニ派遣ヲ命ス

三、陸軍中尉 田中成雄

同 西村又次郎

(廿七)

宿營地  
勤務  
人員

九月十日  
晴後雨

陣地構築

右者隊長會同出席、為明二日渡久地ニ出張  
ヲ命ス(即日歸隊)

四 陸軍中尉 関 太郎  
右者築城會報出席、為二日渡久地ニ出張  
ヲ命ス(即日歸隊)

今歸仁

日直下士官 陸軍軍曹 上藤井光男  
將校以下 二八名

一 大隊長武部隊出張ニ引續キ聯隊本部ニ於テ  
行ハル、大中队長會議ニ出席ス

二 塩原軍曹以下七名陣地構築洞窟作業ヲ實施ス

三 関中尉聯隊本部ニ於テ行ハル、築城會報出席、  
為一。〇。出張聯隊本部ニ到ル

四 古賀軍醫少尉癩病患病者、收容、為今歸仁村  
役場ニ打合、為關係各方面ニ連絡、上之ヲ收容ニ  
當ル

今歸仁  
日直下士官 陸軍兵長軍曹 長谷川 信一  
將校以下 二八名

(廿七)

宿營地  
勤務  
人員

九月十日  
晴

陣地構築

一 塩原軍曹以下五名洞窟陣地ノ作業ヲ實施ス

二 大隊長武部隊ヨリ引續キ聯隊本部ニ於テ関雁ノ大  
中队長會同會議ヲ終リ、〇。八。〇。歸隊ス

三 関中尉聯隊本部出張中、慶本。〇。八。〇。歸隊ス

命 令 六 井日命第四六號

四、津日降雨ニ依リ農家甘藷植付爲本一二日明一三日ノ兩日間津地協力ヲ中止甘藷苗植付ヲ實施ス

五、古賀軍醫少尉癩病患者收容爲該營各部落ニ出張之カ收容ニ當ル

井上隊命令

一、田中隊 陸軍衛生一等兵 金丸久雄

右者入院患者護送並事務連絡ノ爲本一二日並明一三日ノ兩日名護ニ出張ヲ命ス

今歸仁

宿營地

C地區巡察將校 陸軍少尉 中野清市

日直下士官 陸軍軍曹 仲條嘉春

將校以下 二八名

人員

九月十三日

行 動 一、大隊長ハ八〇〇ヨリ各中隊ヲ陣地爲裝ニ對スル指導ヲ

ナシ一〇〇歸隊ス

陣地構築 二、塩原軍曹以下七名陣地構築ヲ實施ス

三、一三〇〇部隊本部ヨリ九九式短小銃銃八挺受領ス

右ヲ第二機關銃中隊ニ交付ス

命 令 四、獨混五聯隊命令第三五號 九月十三日八〇〇

一、隊團司令部通信班及暗號班ヲ強化ス

二、地區隊前項要員トシテ別紙ノ如ク差出サントス

三、細部ニ關シテハ右井少尉ヨリ指示セズ

本部地區隊長 美田大佐

五、獨混一五聯隊命令第三五號別紙披萃ヲ示シ

差出部隊	又	員	備	要
井上隊	又	一	備	要



宿營地  
勤務員

九月十四日  
教育

備  
 一 出席費六九月二百〇九〇〇部隊本部集合  
 二 個人支給兵器被服全部携行  
 三 本要員ハ腦力中等以上ニシテ身體健康ナルモ  
 考  
 ノヲ充ソルニトス

六 右命ニ依リ之カ要員ヲ第四中隊ハ連絡ス

今歸仁

陸軍軍曹

宮崎 啓二

日直下士官

將校以下二八名

一〇八〇〇ヨリ大隊長大隊將校全員ニ對シ教育ヲ實施ス

〇八〇〇一〇〇〇將校、騎、將校團ニ就キ

一〇三〇一三〇〇大隊戰鬥計畫對スル圖上研究

武部隊陣地視察ノ所見

陣地構築

二 花園兵長以下五名陣地構築ヲ實施ス

三 連日降雨ニ依リ各中銃隊兵ニ偽裝ヲ實施ス

命令

四 獨混一五聯作命第三七號

本部地區隊長命令

九月十四日一三〇〇  
於淺久地

一 地區隊長將校ニ對シ他隊陣地ヲ見學セシメ自隊

陣地ヲ強化ニ資セントス

二 各隊ハ別紙計畫畫書ニ基キ所要ノ人員ヲ本夜習

ニ參加セシムハシ

本部地區隊長 美田大佐

命令

五 井日命第四八號

井上隊命令

九月十四日

一 橋本隊 陸軍上等兵 藤澤 一

右者暗號修業兵トシテ旅團司令部ニ分遣ス

命令

仍テ九月一五日〇九〇〇迄ニ聯隊本部ニ到リ石井少尉

ノ指示ヲ受クヘシ

ニ別紙ノ通り日直將校ニ服務スヘシ

三、陸軍生計中尉 富田良夫

右者前渡金受領ニ為明一五日聯隊本部ニ出

張ヲ入申ス

今ノ歸仁

B地區巡査將校 陸軍少尉 中野清市

日直將下士官 陸軍主計伍長 中田芳雄

將校以下ニ八名

宿營地  
勤務

人員

Table with 2 columns: 宿營地 (Dormitory Site) and 勤務 (Duties). It lists personnel assignments for various locations and roles, including names like 中野清市 and 中田芳雄.

獨混五聯作命第三號別紙

將校現地教育實施計畫

昭和一九二九年六月

方針

中隊長及中隊附將校ニ對シ他隊陣地構築狀況ヲ實視  
セシメ自隊陣地強化ニ資スルニシム

實施地要領

一、各中隊毎ニ一方陣地ニ就キ左順序ニ實施ス

甲、中隊長防禦戰鬪指導ニ就キ説明

乙、專習員陣地ニ現地踏査シ陣地占領棲息格納交

通等ノ施設及火網之構成等ニ對シ射擊ニ關シ所見

提出

3. 實施中隊長大隊長ノ前項專習員ノ所見ニ關シ意見

ヲ述ブ

4. 聯隊長所見

二、專習員

（一）專習員ノ選定（二）專習員ノ教育

1. 各中隊長又ハ中附將校隊 (配屬部隊ヲ含ム)
  2. 實施部隊、將校全員
- 三、統裁部

岡澤大尉、志村副官、藤本中尉、柴田少尉、柳大尉、  
村野軍曹及傳令三

- 四、專習員、服裝、略装トシ眼鏡ヲ携行スル
- 五、本演習ニ要スル經費ハ陸軍旅費規則第四表旅籠料倍額以  
内、實費支辨トス
- 六、實施日次左ノ如シ

日次	時刻	實施部隊	行動、概要
16日	一三〇〇 一八〇〇	II	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊江島部隊ハ二三〇迄ニ本部ニ集合</li> <li>2. 專習員自動車ヨリ今歸仁ニ至ル</li> <li>3. 一六日夕八七台朝食ハIIヲ於テ準備ス</li> <li>4. 今歸仁ニ宿營ス</li> </ol>

日	時刻	實施部隊	行動、概要
17日	一〇九〇 一四〇〇	RIA I	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 〇八〇〇今歸仁出發</li> <li>2. 晝食ハIニ於テ準備(演習終了後)</li> <li>3. 渡久地ニ移動</li> <li>4. 同地ニ宿營</li> </ol>
18日	一二〇〇 一八〇〇	TAS III	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 〇八〇〇渡久地港出發</li> <li>2. 伊江島ニ到着後晝食</li> <li>3. 演習終了後伊江島ニ宿營ス</li> <li>4. 伊江島部隊ハ解散</li> </ol>
19日	一〇〇〇		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊江島渡久地</li> <li>2. 解散</li> </ol> <p>今歸仁ハ自動車ヲ運行セシム</p>

備 1. 統裁官以下專習員ハ宿營給養ハ實施部隊準備擔任スル  
考 2. 乗船及渡久地ノ宿營給養ハ統裁部ニ於テ準備ス



別紙

二六	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	日
土	金	木	水	火	月	日	土	曜
今本少尉	神谷少尉	木村曹長	田村少尉	原田少尉	森岡中尉	保田曹長	関島曹長	日直將校
	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	日
	土	金	木	水	火	月	日	曜
	田村少尉	原田少尉	森岡中尉	保田曹長	関島曹長	吉川准尉	中野少尉	日直將校

日直將校  
 関島曹長  
 保田曹長  
 森岡中尉  
 原田少尉  
 田村少尉  
 神谷少尉  
 木村曹長  
 今本少尉

九月十五日  
暴風雨

陣地構築

一、富田主計中尉前渡金受領、爲七〇〇出發聯隊  
本部へ出張ス

二、塩原軍曹以下七名陣地構築(爲裝)ヲ實施ス

三、仲條軍曹各中銃隊ヲ兵一宛揮指シ木炭  
製造、爲謝名南方山ノ到リ、該山主ト交渉シ、松ノ

四、大隊長一四〇〇、一六〇〇迄陣地爲裝狀況巡視ス

五、暴風雨、爲炊事衛兵折天幕飛散  
命 令 六、井日命第四九號

井上隊命令 九月十五日  
一本職九月一七日ヨリ二泊三日豫定、以テ將校現地教育  
ス、爲謝花伊江島へ出張ス

二、本職不在間大隊長代理ヲ命ス、以テ本職  
本職不在間大隊長代理ヲ命ス、以テ本職

宿營地  
勤務  
人員

三、右者駐屯地會報出席、為明一春渡久地出張  
ヲ命ス  
陸軍中尉 山下寬治

四、  
陸軍中尉 田中成滋  
同 西村又次郎  
同 梅木忠次  
同 大門正三

右者將校現地教育專修員トシ九月一七日  
二泊三日豫定以テ謝花及伊江島ニ出張シ命ス  
七、今歸仁守備隊戰鬥指導計畫完成  
今歸仁  
陸軍主計伍長 中田芳男  
渡久地糧秣受領 陸軍軍曹 塩原茂徳  
日直下士官  
將校以下 二八名

九月十六日  
暴風雨

陣地構築

一、昨日以來暴風雨ニシテ聯隊將校集合教育中止ス  
二、仲條軍曹以下七名陣地構築作業ヲ實施ス  
三、大隊長各陣地ニ為裝狀況ヲ視察シ為〇〇〇出資  
一〇〇歸隊ス

命 今四井日命第五〇號

井一平隊命令

九月十六日

一、精本隊 陸軍一等兵 加藤益夫  
右者當分間大隊本部勤務ヲ命ス  
陸軍衛生伍長 田中孝一  
二、右者衛生材料受領、為明一七日渡久地ニ出張ス  
命ス(即日歸隊)

宿營地  
勤務

今歸仁  
田直下士官 陸軍軍曹 藤井光男

井上

人員

將校以下二八名

九月十七日  
陣地構築

命令

- 一、仲條軍曹以下七名陣地構築作業ヲ實施ス
- 二、副官事務連絡ノ為聯隊本部ニ到リ二〇〇歸隊ス
- 三、聯隊ヨリ電話命令ニ依リ左ノ如ク命令ス
- 四、井上隊命令

九月十七日  
於今歸任

一、大隊主力ヲ以テ伊江島飛行場作業ニ應援ノ為

出發ス

二、左記者先發ノ為本十七日二〇〇迄ニ出發準備ヲ

完了スハシ

輸送ノ為有動貨車一三〇到着ノ豫定

神谷少尉

設營ノ為

中野中尉

飛行場作業打合ノ為

本部兵二

各中銃隊下士官一兵三

三、服裝個人裝備一切小銃三〇發

四、中野中尉以前項人員ヲ指揮シ本十七日一五〇〇度久地ニ

到リ岡澤大尉ヲ指示シ受テハシ

五、予ハ今歸任國民學校在リ

大隊長

井上大尉

下達法各隊(第四隊)隊之命令受領者ヲ集メ口達筆

記セシム

第四中隊電報ヲ口達筆記セシム

五、三三〇中野中尉以下三名先發ノ為有動貨車ニ依リ

出發ス

六、本部先發者

神谷少尉  
設營ノ為  
神谷少尉

陸軍兵長 花岡剛三  
陸軍上等兵 佐々木忠雄

命令

七、獨混五聯隊命令第三九號要旨左ノ如シ

一、軍ノ重大決心ヲ基キ旅團ハ伊江島飛行場建設任務ヲ第十九航空地區司令官ヨリ繼承シ九月三〇日マテニ之ヲ完成ス

第九師團及第二歩兵隊ヨリモ人員器材ヲ差出シ作業ニ從事ス亦機部隊ヲ輸送及補給ニ任ス

第二歩兵隊第二大隊長ハ伊江島以外旅團作戰地區内ノ防衛ニ任ス

二、聯隊ハ全カヲ以テ九月一八日渡久地出發伊江島到リ一九日ヨリ作業ニ着手セントス

三、各隊ハ左記區分ニ從ヒ渡久地埠頭ニ集合シ人員搭載掛ノ指示ヲ受クヘシ

3. 第三大隊

一八日午五時渡久地ニ別命ス

四、岡澤大尉ハ本一五〇〇渡久地發伊江島到リ旅團高級部員ト連絡シ且各部隊先發者ヲ監視シ作業並宿營ニ關シ準備スヘシ

五、各隊ハ別ニ示ス人員ヲ先發者トシ本一五〇〇渡久地ニ到ラシメ岡澤大尉ノ指示ヲ受ケシムヘシ

六、第一、第二大隊ハ各中隊及獨立中隊ハ將校以下約一ケ分隊ヲ殘置シ勤務替ヲ使役シ作業ヲ續行スルト共ニ殘留諸勤務ニ服セシムヘシ

暗號教育ハ續行スヘシ

一〇、義井小隊ハ一八日渡久地於テ宿所屬ニ復歸スヘシ

命令 第八、井上隊命令

一八日午五時

第一大隊全カヲ以テ九月一八日現在地ニ集渡久地ヲ經テ伊江

島に到り飛行場建設作業に從事す  
 二、各中銃隊九月八日〇七三。迄に出發準備を完了スルニシ  
 三、殘置員ヲ左ノ如ク命ス

大隊本部 野澤衛曹長 曹士官

衛生部 下士官 一

兵 二

各中銃隊 將校 一

下士官 一

兵 六

患着 (軍醫指名)

四、輸送間ニ於ケル勤務員ヲ左ノ如ク命ス

人員塔載係 長越少尉

荷付塔載係 田村少尉

大隊本部 下士官 一、各中銃隊 下士官 一、兵 三

五、六號無線教育に依然續行スルニシ

六、現ニ實施シテ陣地構築作業に引續キ實施スルモトス

七、服裝及携行品

一、個人小銃帶劍各自彈藥三〇

二、服裝 防暑衣袴 卷脚絆 着用

各人主器具 背囊 毛巾 天幕 水筒 雜囊 巨用品若干

三、蚊帳 水槽 瀧水器 薪 炊具 照明具 蚊取線 查熱地天幕

大隊長 井上大尉

下達法 命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

命令 九、井作命令第三號

井上隊命令

一、大隊八日〇七三。現在地出發行軍ニ依リ先ツ渡久地ニ前進

セントス

二、各隊八日〇七三。迄ニ校庭南側廣場ニ北面ニ縱隊

横隊二線ニ集合スヘシ  
 但シ第四中隊ハ兼次ニ於テ行軍序列ニ入ルモハ  
 三、人員搭載掛 長越少尉  
 荷物掛 田村少尉  
 右者ハ一八日二〇〇。迄ニ渡久地部隊本部ニ至リ聯隊搭  
 載係ノ指示ヲ受クヘシ  
 四、荷物ハ荷物搭載掛ノ指示ニ依リ。八〇。現在地出發  
 荷馬車ニ依リ先ニ渡久地ニ搬送スヘシ  
 五行軍序列  
 第五、第六、第三機関銃、第四中隊  
 出發ハ一八日。八〇。ト豫定スルモ別命令々  
 六、予ハ一八日。八〇。守備隊本部ニ在リ  
 爾右部隊ノ先頭ヲ前進ス  
 大隊長 井上火尉

命令	行動	九月十日 晴	宿營地	勤務	人員	
三、獨流ニ五聯隊ヲ命第四號救卒左ノ如シ 一、聯隊ハ飛行場建築作業完了迄伊江城ニ附近ニ宿營	一、大隊ハ昨一晝井作命令ニ基キ。七三〇。整列完了。八〇。 今歸仁出發行軍ヲ以テ渡久地ニ向ク 二、一〇。渡久地着晝食ヲナシ。一三三〇。渡久地發火發シヨリ 伊江島ニ向ク。一三三〇。到着ス			日直下士官 陸軍軍曹 藤井光男 將校以下 二八名	一〇。命令ニ依リ各隊各部共出發ニ関スル携行品等ノ諸準備ニ實施ス 今歸仁	一、下達命令全受領者ヲ集メ口達筆記セシム後印刷交付 一〇。命令ニ依リ各隊各部共出發ニ関スル携行品等ノ諸準備ニ實施ス 今歸仁

セトス

第九師團ハ伊江城山北方地區ニ第三步兵隊ハ八二三高地北側地區ニ各々露營ス

二各隊ハ設營者ノ指示ヨリ左如ク露營ス

第三大隊 伊江城山東麓地區

三露營勤務員トシテ左ノ如ク服役カス

一露營日直將校 岡澤 大尉

巡察將校 各露營地區ヨリ將校一名

四給養ハ露營地區毎ニ部隊炊事トシテ所學糧秣ハ

一三〇第三大隊炊事場ニ於テ交付スルヲ各隊ハ同時

迄ニ受領者ノ炊事場前ニ差出ス

獨立中隊ハ第二大隊ニ於テ給養ヲ擔任ス

五給水ハ第三大隊配屬ノ給水班ヨリ受ス

命令 四并作命第三〇號別紙ノ如シ

陸 軍

伊江島飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

戰術ヲ二併列ニシテ敵機ヲ射撃スルハ北島ニ適リマシテ敵機ニ對シテ

度ニ而シテ其ノ餘勢ヲ南西諸島ニ向ヘテ放テシテ敵機ニ對シテ命令

ニ基テ敵機ヲ射撃スルハ全力ヲ以テ第九師團ヨリ本作業ヲ為シ

水機ヲ指揮スルハ各隊ノ機長ヨリ本島ニ對シテ敵機ヲ射撃スルハ

島飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

左ノ如ク示ス

一露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

二露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

三露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

四露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

五露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

六露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

七露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

八露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

九露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

十露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

十一露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示

十二露營大ニテ本飛行場急造設用ニ方リ與ル訓示



請旨、今ニシテ一刻ヲ望ミシノ痛ヲ新々既又ハ諸國軍機戰  
 全般ノ林戰及空影響等極々交々三三海ヲ二戰ニ攻メ三途  
 二及ナルヲ所路ニ一責作業ニ過是ハ以テハ機ヲ以テ機ヲ以テ  
 二飛行場航空作戦ニ於ケル要性ヲ確認セヨ  
 當飛行場、沖繩本島、飛行場、相提并論シ、首方面ニ於ケル  
 航空作戦ニ對シテ戰術的價値、重要性ハ勿論大東亞  
 全般ニ立ル航空作戦遂行ニ為航空機動飛行場トシテ  
 極大ニ重大ナル續續ヲ有ス若シテ未ト現況ヲ以テ機手ニ委スル  
 ニトアラシク本島方面ニ於ケル地上作戦勿論國軍全般ヲ  
 作戦ニ及ボス影響甚大ナリ  
 三本島飛行場設定ハ機動遂行ニ由  
 設定ニ於ケル新設ノ請取、己ハラ得ル事情ヨリ、今ヨリ速  
 之ノ完成ヲ見スニ至ラス加フルニ從來ノ戦訓ハ一節設計ノ  
 改善ヲ必要トシ切迫セル現戰局ニ即シ之ヲ急進ナル完成

ヲ面スルニ至レリ

四作業設計並細部ノ指導ニ関シテハ斯界ノ權威者ニ委升  
 參謀ヲ普派團ニ配屬セリ各部隊ハ其ニ指示ニ基キ  
 銳意作業ニ精勵シ各部隊ノ名譽ニカケ穿心任務ノ  
 完成ヲ期ス

昭和十九年九月十八日

陸團長 鈴木少將

九日... 陸軍部... 航空部... 陸軍省... 航空部... 陸軍省... 航空部...  
 六、陸軍省... 航空部... 陸軍省... 航空部... 陸軍省... 航空部...  
 各部... 陸軍省... 航空部... 陸軍省... 航空部... 陸軍省... 航空部...

陸軍少尉 川合次二  
 九月十八日 四〇〇  
 於伊江島  
 露營命令  
 一、大隊ハ爾今現在地ニ於テ引續キ露營ス  
 二、各隊ハ夫々設營者ノ指示ニ基キ所定ノ位置ニ幕舎ヲ構築  
 スヘシ  
 三、露營間別紙ヲ通り日直將校ニ服務スヘシ  
 四、九月十八日巡察ニ服務スヘシ  
 五、部隊衛兵別紙ヲ通り服務スヘシ  
 編成 司令一(下士官若クハ兵長)  
 歩哨一 歩哨六  
 六、炊事勤務兵トシテ左ノ如ク差出シ服務スヘシ(但シ九月十九日ヨリ)  
 本部 下士官一 兵二  
 各隊 兵二

井作命第三〇號

露營命令

九月十八日 四〇〇  
於伊江島

- 一、大隊ハ爾今現在地ニ於テ引續キ露營ス
- 二、各隊ハ夫々設營者ノ指示ニ基キ所定ノ位置ニ幕舎ヲ構築スヘシ
- 三、露營間別紙ヲ通り日直將校ニ服務スヘシ
- 四、九月十八日巡察ニ服務スヘシ
- 五、部隊衛兵別紙ヲ通り服務スヘシ

編成 司令一(下士官若クハ兵長)

- 歩哨一 歩哨六
- 六、炊事勤務兵トシテ左ノ如ク差出シ服務スヘシ(但シ九月十九日ヨリ)
- 本部 下士官一 兵二
- 各隊 兵二



五、各中銃隊飛行場作業協力人員左ノ如シ

隊名	隊長	副隊長	下士官	兵	計
第一中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第二中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第三中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第四中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第五中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第六中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第七中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第八中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第九中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第十中銃隊	三	三	一七	九二	一一二

五、各中銃隊飛行場作業協力人員左ノ如シ

隊名	隊長	副隊長	下士官	兵	計
第一中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第二中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第三中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第四中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第五中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第六中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第七中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第八中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第九中銃隊	三	三	一七	九二	一一二
第十中銃隊	三	三	一七	九二	一一二

六、各隊ノ設管者ノ指示ニ依リ幕舎構築ヲ實施ス

給養

七、本夕給養ハ第三大隊ヨリ受ケ

八、一七三ヨリ將校全員集合飛行場作業打合ヲ為シ

宿營地

伊江村

勤務員

日直下士官 陸軍軍曹 藤井光男

將校以下二〇名  
殘留者 將校以下六名  
暗號分遣下士官以下三名



聯隊本部勤務下士官一名

九月十九日  
晴

宿營地  
勤務員

- 一、大隊各中銃隊共〇七三〇。(炊事勤務者並所學ノ監視者ノ除ク)全員飛行場作業場ニ到リ該作業ニ任ス
  - 二、大隊本部作業人員大隊長以下一三名
  - 三、宮崎軍曹各中銃隊ヨリ出ル炊事勤務兵ヲ指揮シ炊事場ヲ幕舎南側ニ構築シ晝食ヨリ大隊炊事ヲナス
  - 四、當地給水状況極メテ困難ナルヲ以テ節水ニ徹底セシム水有難サ初メテ判ル
- 伊江村  
日直下士官 陸軍軍曹 塩原茂信  
將校以下二〇名

九月二十日  
曇

(井上)

宿營地  
勤務員

九月二十一日  
風雨

- 一、大隊各中銃隊全カヲ擧テ作業ニ出場シ飛行場完成ニ協ス
  - 二、大隊本部大隊長以下一三名出場昨日引續キ土盛り作業ヲ行フ
  - 三、飲料水不足ニシテ僅ニ給水班ニ依ル小量ノ水ヲ渴ラ醫醫ス
- 伊江村  
日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二  
將校以下二〇名
- 一、早朝ヨリ天候悪ク曇天ナリ 大隊長以下一三名〇六三〇ヨリ現地ニ至リ作業續行 兵ノ志氣又旺盛ナリ

井上

宿營地  
勤務員

九月二十三日  
雨

流石精銳部隊ト言ハレル北陸健兒ノ團結其ノ努力ニ依リ作業ハ進捗シ釜井參謀ヨリ賞セラル

二、藤井軍曹病氣ノ爲メ歸仁村ニ歸リ大隊本部ニ於テ休養セシム

三、大隊長ハ三ヨリ旅團長ノ行フ會食ニ出席ス

四、一九〇頃ヨリ猛雨來リ風之ニ伴フ露營ノ幕各舎慘ク

伊江村

日直下士官 陸軍兼旅軍曹 塩原茂信

將校以下一九名

一、〇六三〇大隊全員作業場ニ出場シ引續キ猛作業ニ從事ス

二、大隊本部 大隊長以下一二名出場伊江島飛行場

緊急施設要綱ニ基キ九月二十七日迄ニ完成セシムハク

大車輪ニテ努カス

三、日中ヨリ降雨アリ夜ニ入リテ甚クシ各幕舎舎水浸シニナル

伊江村

日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓三

將校以下一九名

井上

宿營地  
勤務員

九月二十三日  
晴

一、〇六三〇大隊全員作業ニ出場努カス

二、大隊本部 大隊長以下一二名出場作業ヲ續行ス

三、大隊長早朝ヨリ各中銃隊ノ作業ヲ指導シ監督ス

四、一〇〇旅團長閣下ニ事視察ヲ受ケル

五、一五〇旅團會報アリ大隊長以下各中銃隊長旅

宿營地  
勤務  
人員

九月二十五日  
晴

團司令部ニ集合各種指示ヲ受ク  
伊江村  
日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二  
將校以下一九名

宿營地

一大隊第一期工事進捗シ第一作業場所ヨリ第二期ノ方ニ移動ス二三日迄ハ埋立作業ナリシカ本日ヨリ機關銃及第四中隊ヲ殘シ地均シラ爲ス  
二大隊本部出場人員將校以下二名 連日大隊長副官間中尉現場ニ到リ大章ノ奮闘ヲナス  
三大隊長全般ノ指揮ヲナシ工事計畫ニ基ク期日迄ニ完成セシムヘク努力カス  
伊江村

井上  
勤務  
人員

九月二十五日  
晴

日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二  
將校以下一九名

- 一 本營ヨリ第二機關銃中隊及第四中隊長越小隊ヲ除キ大隊全部作業ヲ移動シ工事ヲナス
- 二 大隊本部大隊長以下二三名出場連日ニ引續キ猛作業ヲ行フ
- 三 大隊長猛作業ヲ認メルモ北陸健兒ノ意氣ニテ完成セシムヘク嚴命ス兵一般ノ志氣旺盛ニシテ良好ナリ
- 四 元四ヨリ軍司令官閣下ノ作業視察アル豫ナリシカ閣下病氣ノ爲取替ナレサル
- 五 元四ヨリ大隊長以下各中隊長聯隊本部ニ集合

...

宿營地  
勤務員

九月二十六日  
晴

工事に關スル打合アリ各隊工事完遂ヲ決意ス  
伊江村  
日直下士官 陸軍中尉 宮崎下等  
將校以下 一九名

一、殘ルハキ日數少クナリタル爲本日より飯六時間ヲ  
三〇分早クシテ工事ヲ進捗ヲ圖ル  
計畫ニ依ルニ七日ノ概成迄ニ今日日ノ最善ノ努  
力ヲ爲ス

二、大隊本部 大隊長 副官 関中尉 他一〇名連日陣  
頭ニ立テ自ラ工事ヲ行フ

三、大隊長昨日聯隊工事打合ニ基キ機關銃中隊  
受持作業場所ヲ本日中ニ完結セシムヘク奮勵ス

(井上)

宿營地  
勤務員

九月二十七日  
晴

遂ニ完成大隊全カヲ移動ス

伊江村

日直下士官 陸軍中尉 長谷川信一  
將校以下 一九名

一、旅團命令ニ依ル伊江島飛行場緊急設定要綱ヲ  
概成豫定日ニ本二七日ハ聯隊大隊ノ名譽ニ由リテモ  
達成セシムヘク作業場ニ出勤ス

二、大隊本部 大隊長 副官 関中尉 以下一〇名 〇六三〇出  
張作業ニ従事ス

三、大隊長ハ機關銃中隊行々誘導路作成ニシテ極力指  
導ス

四、各中隊ニ極力奮力ヲ示ス



宿營地  
勤務  
人員

九月十八日  
晴

四、大體ニ於テ七割程度ノ設定ヲ見受テラル

伊江村

日直下士官

將校以下一九名

陸軍兵校軍曹 長谷川 信一

一、飛行場完成迄ニ殘ス處三日間大隊全員最後ノ

馬力ヲカケテ作業ヲ行フ

二、大隊本部 大隊長以下一二名出場

三、大隊長連日陣頭ニ立テテ自ラ作業ヲ行ヒ大隊ノ志

氣大ニ興キル

四、二〇聯隊將校集合アリ作業日數幾何モ無キニ付

各將校ハ部下ヲ督勵シテ作業ヲ進捗セシムヘキ示達

アリタリ

(并)

宿營地  
勤務  
人員

九月十九日  
晴

五、此處數日天氣良好、爲雨否ニ此ノ作業量増大セシモノ

ト認ム

伊江村

日直下士官

將校以下 半一九名

陸軍軍曹 宮崎 啓二

一、作業日數モ残ス處二日全カヲ舉ケテ残カラス

二、大隊長以下一二名出場ス

三、作業ノ進捗ヲ圖ル必要上將校立會ノ下ニ爆破作

業ヲ行ヒ一氣ニ能率ヲ舉ケシム

四、八〇〇ヨリ聯隊將校會食アリ大隊長以下本部各

隊將校出席ス

伊江村

勤務員

日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二  
將校以下一九名

九月三十日 晴

命令

- 一、本日ヲ以テ飛行場完成豫定ナル故大隊全員最終ノ努力ヲ爲シ作業ノ完成ヲ期ス
- 二、大隊本部大隊長以下二名出場ス
- 三、一〇〇聯隊長ハ作業ニ関スル細部ヲ指示シセラル
- 四、聯隊長ノ指示ニ基キ大隊長各中銃隊ノ作業區署ヲナシ督勵ス
- 五、獨混一五聯隊命令第四九號要旨左ノ如シ
  - 一、伊江島飛行場設定作業ハ將兵ノ努力ニヨリ本三日ヲ以テ完成シ各作業隊ノ編成ヲ解カル
  - 二、聯隊ハ速ニ各守備地區ニ歸還セントス

打

宿營地 勤務員

三、各隊ハ別紙計畫ニ基キ各々守備地區ニ歸還スハシ  
伊江村  
日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二  
將校以下一九名

獨混一五聯作命第四九號第三項別紙抜萃

歸還輸送計畫

球第七八三六部隊

尉 中 本 藤		全區原		時間
包 梱		分 符		
第 二 大 隊 尉		第 二 大 隊 尉		輸送中隊
第 二 大 隊 尉		第 二 大 隊 尉		
II 大隊 梱包		II 六 五 四 II		人員
一 三 九 梱		M 中 中 中 部		
又 發 火		又 發 火 船 漁		摘 要
又 發 火		又 發 火 船 漁		
<p>一、本表、如ク計畫スルモ海上狀態梱包ノ大小等ノ實情ニ應シ各主任將校ニ於テ適宜區處スルモトス</p> <p>二、荷物ノ所要ノ人員ヲ以テ午前中ヨリ埠頭ニ集積スルモノトス</p> <p>三、乘車馬及馬車ハ乘船概ネ一時間前到着セシムルモノトス</p> <p>四、各隊ハ渡久地到着セハ右井中尉ト連絡、上駐屯地ニ前進スハシ</p> <p>五、乘船岸壁ハ舊橋トス</p> <p>六、時間ハ概ネ上記、如ク豫定スルモ狀況ニヨリ多少變更ヲ來スコトアルハシ</p>				